

## 公開授業学習指導案

- 1 期 日 10月3日(金)
- 2 時 間 4限 「コンピュータ・LL演習」
- 3 対 象 英語科1年
- 4 単 元 スピーチ活動

### 5 単元目標

与えられた話題について伝えたいポイントを整理し、1分間で発表することができる。  
文法に従って、正しく話すことができる。  
聞いた内容について概要や要点を把握することができる。

### 6 単元設定の意図

#### 教材観

英語でのスピーチは、生徒が高等学校での学習を通して身に付けて欲しいスキルの一つである。夏季休業中にはスピーチとディベートの集中講座を英語科の生徒を対象に本校で開催した。従って、9月からの一連の授業では、スピーチへの導入として身近な話題に関する1分間スピーチを取り扱うことにした。特に今回の学習で焦点を当てたいのは、単元目標に掲げた3つの点である。第1は、適切な発表である。伝えたいポイントを整理して発表することは、聞き手の理解を助ける上で重要である。発表の準備段階でスピーチの構成に意識を向けさせたいと考えている。第2は、正確な発表である。文法に従って正しく話すことも聞き手の理解を助ける上で重要である。原稿を作成する過程でALTに添削してもらうように生徒に指示を出そうと考えている。第3は、適切な聞き取りである。級友の発表を聞く立場になったときに、聞いた内容について大切な部分を把握することができる能力を今回の授業を通して身につけて欲しいと考えている。以上3つの目標に留意して、授業を展開したいと考えている。

#### 生徒観

今回の授業の対象となる生徒は、本年度入学の英語科1年生である。この科目では少人数クラスで授業を実施しているため、クラスサイズは通常の半分の20人である。英語のコミュニケーション活動に対する関心は高い。これまでに実施したアンケート調査では、英語を「話すこと」に関する関心や意欲が高いことが分かっている。クラスの雰囲気も明るく、ペア・ワークやグループ・ワークにも積極的に取り組む。クラス内での学力差は若干感じられるものの、比較的均一の学力を有する。中学校段階での学習内容は概ね身につけていると考えられる。

#### 指導観

指導にあたっては、生徒の学習意欲の伸長を心がけている。生徒の学習意欲が高いので、それをさらに伸ばすような学習の雰囲気作りや言語活動が重要であると考えている。これがスピーチへの導入の授業であることを考慮して、スピーチの話題については身近な話題を取り上げ、授業での発表を通して成就感や自信を生徒に与えたいと考えている。加えて、今回の一連の授業では、実際に体験して学ばせることを指導方針としている。生徒が実際に自分で発表したり、級友の発表を聞いて学ぶことを授業の基本としたい。さらに、教員がスピーチに関して説明を行う際は、生徒の実際のスピーチを教材にして、明解かつ簡潔に行いたいと考えている。一度に多くを要求するのではなく、できたところを認めつつ、次のステップにつながるような学習支援ができればと考えている。

## 7 学習指導計画（時間数）

次	学習内容・学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元の目標の提示</li> <li>・次回のスピーチの話題「自己紹介」の提示</li> <li>・原稿作成</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ発表1「自己紹介」</li> <li>・次回の話題「伝えたいポイントを整理した自己紹介」提示</li> <li>・原稿作成時にスピーチの構成を意識するように指示</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ発表2「伝えたいポイントを整理した自己紹介」</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ研究1：スピーチの構成に着目して、今までの2つのスピーチの振り返り</li> <li>・次回のスピーチの話題「私の好きなもの」の提示</li> <li>・原稿作成</li> </ul>
5 本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ発表3「私の好きなもの」</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ研究2：スピーチの構成及び文法の正確さに着目して前回のスピーチの振り返り</li> </ul>

## 8 本時案

### (1) 主眼・ねらい

「私の好きなもの」について伝えたいポイントを整理して1分間で発表できる。  
文法に従って、正しく話すことができる。  
聞いた内容について概要や要点を把握することができる。

### (2) 準備

スピーチ評価シート、自己評価シート（資料1）  
MDデッキ、MD、ストップウォッチ

### (3) 学習過程

学習内容・学習活動	生徒の反応	教師の支援・評価等 (は特に評価に関して)
・Warm-up (What's new?) 5分	・週末にしたことを英語で級友と話す。	・BGMを流し、英語で話しやすい雰囲気を作る。
・本時のねらいの提示 2分	・スピーチ評価シートを見ながら、授業のねらいを確認する。	・本時のねらいを提示する。
・スピーチ 33分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ずつ発表する。</li> <li>・聞いている生徒は、発表が終わる毎に教員がスピーチに関する質問をするのでそれに答える。解答は自己評価シートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチ評価シートに従ってスピーチの評価を行う。</li> <li>発表毎に理解を確かめる質問を英語で行う。</li> </ul>
・まとめ 5分	・本時の活動を振り返り、自己評価シートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総評を述べ、生徒の優れた点や改善できる点を指摘する。</li> <li>自己評価シートを回収する。</li> </ul>

資料1 スピーチ評価シート，自己評価シート

スピーチ評価 Speech Evaluation Form (授業中に行います)

評価の観点	評価	配点
聴衆の目を見て話すことができる。 Eye Contact	要改善 合格 Fail / Pass	1点
聴衆に聞こえる声で話すことができる。 Voice Volume	要改善 合格 Fail / Pass	1点
スピーチの構成がはっきりしている。 Logical Development of Speech	要改善 合格 Fail / Pass	2点
1分程度英語で話すことができる。(55秒以上が合格) Length of Speech (55 seconds or more)	要改善 合格 Fail / Pass	2点
文法に従って，正しく話すことができる。 English Grammar	要改善 合格 Fail / Pass	2点

1年E組 番 氏名 \_\_\_\_\_.

自己評価 (授業の最後に行います)

評価の観点	評価
積極的に英語で話すことができた。 I was highly motivated to speak English.	要改善 合格! Fail / Pass
友達の話を中心して聞くことができた。 I listened attentively to my friends' speeches.	要改善 合格! Fail / Pass

1年E組 番 氏名 \_\_\_\_\_.